

いよいよ徳島へ！ 高松市役所での出発式に、初めてコープかがわ代表が参加！！ 行進参加者累計 458人 カンパ 1,500円

安部行洋香川県国民平和前行進代表委員（高教組執行委員長）が主催者挨拶で、「戦争に子どもを送ってきた反省から二度と子どもを戦争に送らない、核兵器廃絶を誓ってきた。これに背を向ける一番がアメリカ」と告発し、「このアメリカに最大の接待をするのが、安倍首相」と批判、さらに2月にアメリカが行った核実験には一言も言わなくていいのか？と核兵器擁護のこの政権を変えるために一役果たす平和行進にしようと呼びかけました。高松市長の代理として挨拶した佐々木和也市民政策局長は61年目となる平和行進の意義深さに敬意を表し、来年のニューヨークでの原水爆禁止世界大会に向け、広島・長崎を二度と繰り返さない強い意志で行進して欲しいと期待し、高松市も一日も早い核廃絶のために行動すると決意を披露して挨拶としました。

森岡智子原爆被害者の会高松支部長は、核兵器のない明るい未来を作る一歩になるようにと平和行進に期待し、元号が変わっても再び戦争なく暮らせるように願うと挨拶しました。

今年初めて「平和を願う高松市民団体協議会」のメンバーである、コープかがわの辻内久美地域組合員代表理事は、毎年ピースかがわを開催しているが、今年のスローガン「子どもや孫に平和への願いをつなげよう」と折り鶴作りをしていると紹介し、ともに平和への願いを共有しようと連帯の挨拶をしました。最後に檜昭二平和行進責任者（平和委員会筆頭代表理事）からこれまでの行進参加者が本日で430名余となったと報告し、本年の行進の特徴として、自治体の挨拶が行進への激励から、核廃絶のためにともに力を尽くそう、協同しようとしているとして、その背景に核兵器禁止条約をめぐる発効が見えてきたことがあると指摘しました。



高松市役所での出発式



高松市役所牟礼総合センターでの出発式で池田センター長と